

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和3年度 技術情報第10号(早期水稻のいもち病)について (送付)

早期水稻のいもち病について、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

なお、本情報は病害虫防除所ホームページ(www.jppn.ne.jp/kagoshima)にも掲載しています。



令和3年度 技術情報第10号

1 対象病害虫 いもち病(穂いもち)

2 対象作物 早期水稻

3 情報の内容

南薩、大隅地域において葉いもちの発生程度が中程度のほ場を確認した。今後も曇りや雨の日が続く、いもち病菌の感染に好適な条件になると予想され、本病の発生が多くなると考えられる。

葉いもちは穂いもちの発生に直接つながりやすいので、早期発見に努め、発生を認めたら直ちに防除を行う。

4 発生状況及び情報の根拠

- (1) 6月17日～22日の調査において、発生ほ場率は28.6%と平年より高かった(表1)。
- (2) 特に大隅地域での発生が多く、発生ほ場率は平年の2倍以上と高かった(表1)。
- (3) 九州南部地方の向こう1か月の気象予報(6月17日鹿児島地方気象台発表)によると、平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は平年並か低いと予想されている。

表1 早期水稻ほ場におけるいもち病の地域別、発生程度別割合(2021.6.16～22調査)

地域	調査ほ場数	発生ほ場数	発生ほ場率(%) ¹⁾		発生程度別割合(%)				
			本年	平年	甚	多	中	少	無
南薩	14	3	21.4	28.6	0.0	0.0	7.1	14.3	78.6
大隅	14	5	35.7	12.9	0.0	0.0	14.3	21.4	64.3
両地域計	28	8	28.6	20.8	0.0	0.0	10.7	17.9	71.4

注1) 発生ほ場率(%)=発生ほ場数/調査ほ場数×100

調査地点 南薩:南さつま市(加世田,大浦,金峰),日置市(日吉,吹上),指宿市(開聞),南九州市(穎娃)

大隅:鹿屋市(串良,吾平),東串良町,肝付町(高山),錦江町(田代),志布志市(有明),大崎町

調査方法 ほ場における病斑の見とり調査

発生程度 甚:下葉は枯死し,完全なずり込み症状を呈する(病斑面積率 50%以上),多:かなり病斑がみられ軽いずり込み症状を呈する(病斑面積率 10%程度),中:病斑がかなりみられる(病斑面積率 2%程度),少:病斑がわずかにみられる(病斑面積率 0.5%程度),無:病斑なし

5 防除上注意すべき事項

- (1) 粉剤または液剤による穂いもち防除は、穂ばらみ期と穂ぞろい期に実施する。
- (2) 粒剤による穂いもち防除を行ったほ場でも、出穂後不順な天候が続く場合は、穂ぞろい期に粉剤または液剤による補完防除を行う。
- (3) 防除時期を失しないように注意する。